

令和4年度大阪府景観審議会

第2回公共事業アドバイス部会 会議要旨

都市整備部 住宅建築局 建築環境課

開催日時：令和5年1月5日（木）13:00～14:00

出席委員：田中専門委員、林専門委員、若本部長

- 官民間わず大きい敷地計画の場合は、街に貢献すべき。
敷地が位置する市街地は緑が少なく、地域の緑景観への貢献のためにも校内の緑は非常に重要になってくる。本計画だからこそできることを探してほしい。
- 大阪府立吹田東高校を良好な景観形成に寄与した公共事業の事例としているが、周辺の土地利用をしっかりと踏まえた上で、立地条件などの違いなどを十分認識し、良いところを参考にしてほしい。
- 定時制があり、夜間も授業がある高校なので、高校生の学習環境をしっかりと整えるため、夜間景観にも十分配慮してほしい。
- 校舎本体だけでなく、周辺のフェンス・緑・掲示物も含めて設計されるような条件設定がされると良い。プロポーザルの仕様書の作成において、提案を求めることは非常に重要。
- 公共建築物として周辺環境との調和の見本となるよう、この地域の色を反映して周辺へ示して欲しい。また、地域の風土・歴史・文化を考え、周辺環境に影響を与える景観に配慮した設計・提案をしてほしい。今後、校舎の維持管理を継続していくことで、周辺の建替や道路整備などにより街全体へ地域の色が広がれば、とても良い街ができると思う。
- 寝屋川市駅周辺は商業地域だが、寝屋川高校付近で突然住居地域に用途地域が変わっているためその変化も面白い。そういった面白い変化も地域の色で繋げられるような調和の仕方も面白い。
- 密集している市街地の中の高校が地域に対してどのようなオープンスペース・伸びやかな風景を作ってあげられるか、また生徒にもその伸びやかな通学風景を提供してほしい。

- 現在の正門側の通学路は狭く危険であり、また校舎の周囲をフェンスで囲まれているため、快適な通学路となるよう計画してほしい。

- 植栽計画について、通学の動線や地域の方々が目にするところに大きな配慮をお願いしたい。

- 考慮事項に掲げている内装の木質化については、木材利用促進の計画に基づき、学校という学び舎を暖かみのある空間とするため、外装についても木質化できればよいが、木材は劣化が進みやすく、維持管理が難しい。道路沿いにおいて、内装の木質化が外側から見えるような工夫があれば、学校らしい柔らかい雰囲気が周囲にも伝わる内装等としてプロポーザルで設計者から色々と提案を求めてみることもよいと思う。

- 学校の場合、一般の建築物に比べて金額のわりに空間が貧しいなど、他の建築物では当たり前前ことができていることが見受けられる。当たり前前をきちんと設計し、通学される生徒たちに建築における工夫が分かるような取り組みを是非ともしていただきたい。

- 計画地に設置される看板や案内サインの設計だけでなく、外側に向けた駅からの案内などのサイン計画にも目を向けてほしい。